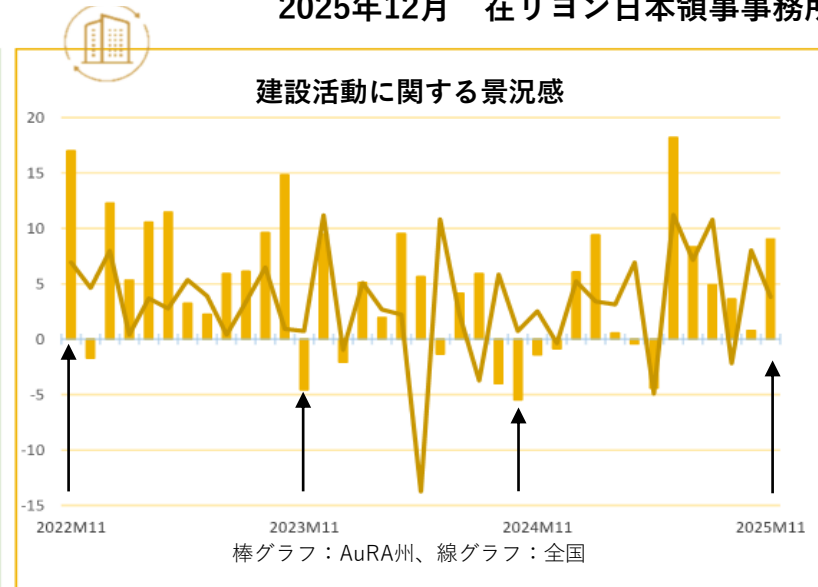
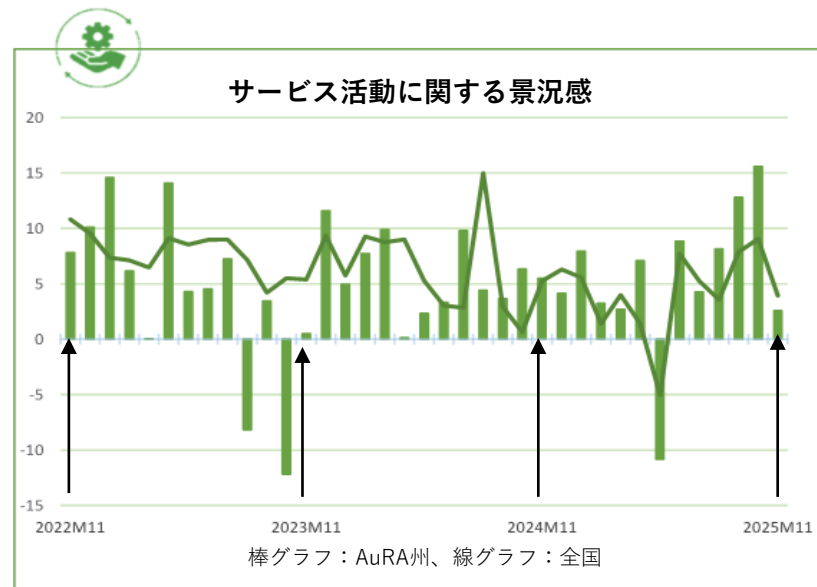
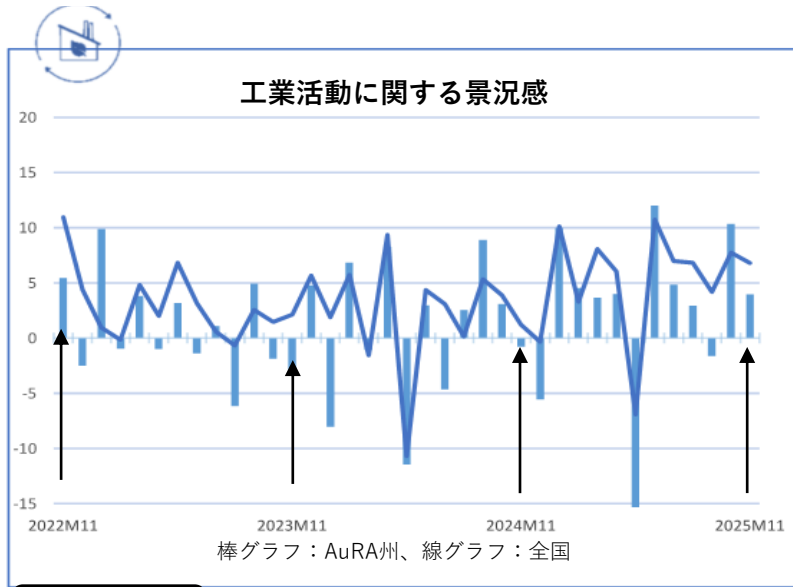


# オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年11月）

2025年12月 在リヨン日本領事事務所



## ポイント

- 11月の**工業部門**の景況感は、AuRA州でも全国でもわずかに増加した。しかし、セクターごとに対照的な動きをみせている。生産稼働率は年初を上回る水準で安定している。原材料価格は上昇した一方、販売価格は横ばいで推移した。受注残高は依然として低水準と評価されているものの、企業経営者は12月には活動がわずかに増加すると予測している。
- **サービス部門**も、AuRA州及び全国レベルで、前月よりも緩やかなペースで活動と需要が伸びたが、業種によって大きな差が見られた。雇用は増加、価格は上昇傾向だった。不透明感が続いているため、経営者は今後数週間は事業は現状維持になるとみている。
- **建設部門**では、内装工事が好調に推移していることから、全般的に景況感は上昇傾向にあるとみられているが、基礎工事は過去2カ月間の縮小の後、ようやく安定化した。雇用はほとんど変化なし。受注残高は減少しており、内装工事では引き続き満足できる水準と評価されているものの、基礎工事では低水準にとどまっている。このような景況感の悪化に伴い、見積価格も大幅に下落している。今後の予測は慎重で、12月の活動はより緩やかになると予測されている。
- 工業部門の資金繰りは前月より逼迫している状況がみられる。特に食品加工、輸送機器製造、化学工業、道路運送の各セクターでは資金繰りの悪化に言及されている。一方、サービス部門では全体的に安定している。

- ・ フランス銀行がAuRA州の工業、サービス業、建設・公共事業の各セクター1,150の企業と事業所を対象に、景況感について調査を実施（2025年11月26日～12月3日）。
- ・ 景況感（le solde d'opinion）とは、企業経営者による肯定的意見と否定的意見の合計を、企業の従業員数で加重平均し、各部門の付加価値で調整したもので、企業経営者による7段階評価の回答を集計した指数であり、その値は-200から+200の範囲となる。季節調整済み及び稼働日調整済みデータを使用。

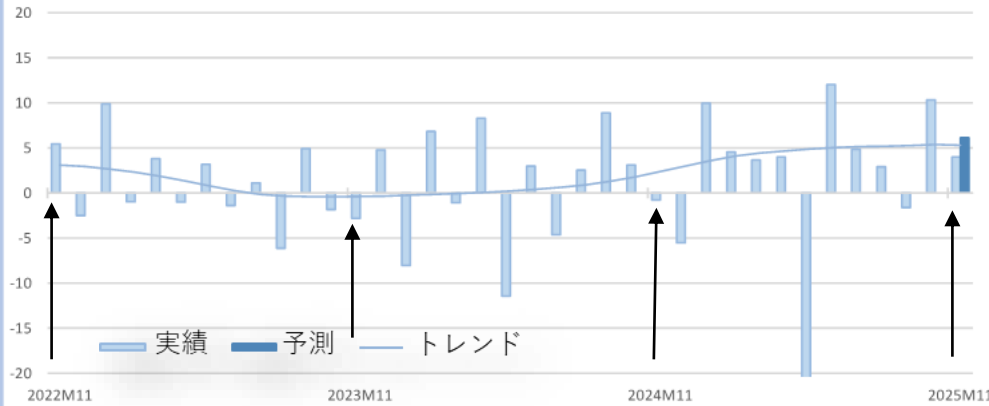
（出所：Banque de France, [Tendances régionales : Auvergne-Rhône-Alpes](#)）

# オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年11月）

## ：実績、翌月の予測、トレンド



工業活動に関する景況感

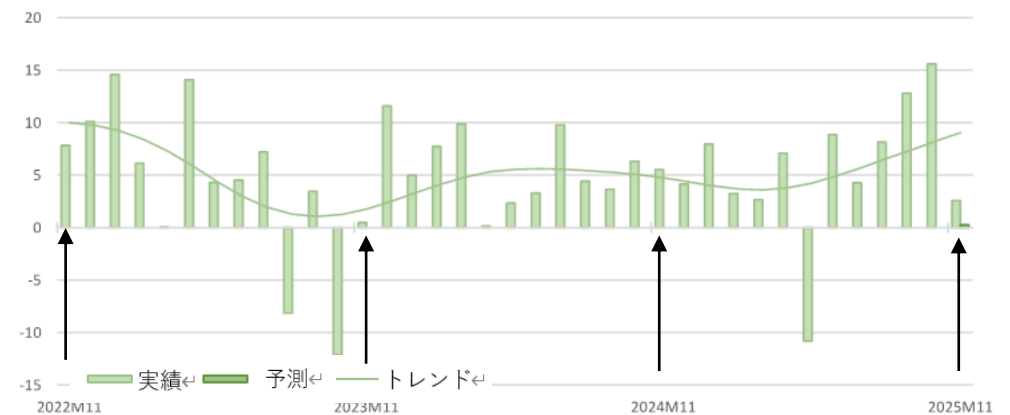


11月の工業部門の景況感は、ほとんどの分野で全体的に好調を維持した。IT・電子製品製造は特に好調だったが、化学・製薬、繊維・衣料、皮革、木材・紙・段ボールの各セクターは明らかに後退した。完成品の価格は安定している一方で、原材料価格はわずかに上昇。雇用は横ばいで維持された。受注残高は依然として低いと評価されているものの、企業経営者は今後数週間で事業活動が拡大すると予想している。



11月の商業サービス業は、過去2カ月間の高い成長に続き、好調を維持。この傾向は、宿泊・飲食業及び運輸・物流業が牽引している。一方、人材派遣、会計・法務、技術設計、個人向けサービスなどのセクターでは景況感は後退した。雇用はわずかに増加、価格は上昇した。短期的には、不透明感のまざる環境を踏まえ、経営者は慎重な姿勢を保っており、事業活動はよくても現状維持とみている。

サービス活動に関する景況感



11月の建設業部門の景況感は、全般的には上昇したが、その牽引役は内装工事であり、基礎工事の景況感は過去2ヶ月間縮小した後、ようやく安定化した。雇用はわずかに増加。見積価格は引き続き大幅に下落した。受注残高は減少した。内装工事の受注残高は予想どおりであるものの、基礎工事では低水準だったためである。しかし、経営者は今後数週間で、内装工事では緩やかな事業の拡大、基礎工事では横ばいを見込んでいる。

建設活動に関する景況感

